

Report!

常任委員会 所管事務調査報告

長岡京市議会では、令和3年12月議会から、各常任委員会で、所管（担当）する分野のそれぞれの課題についてテーマを設定し、所管事務調査を行ってきました。

9月定例会の最終日に提出された報告書の主な内容をご紹介します。

総務産業 常任委員会

・ 公民連携について



▲埼玉県さいたま市視察の様子

本市において実施している公民連携事例の研究を経て、年々多様化する市民ニーズへの対応や行政サービスの質の向上のため、現在取り組んでいる事例に加え、今後も幅広い分野において推進していくべきであるという共通認識を得た。先進地視察では、市職員に民間経験者を多く採用していたり、民間企業との職員交流を実施するなど、組織を活性化する体制が整備されている事例について学び、市職員の人材育成について議論が集まった。公民連携を進めていくにあたり、その枠組み作りといったハード面を整備していくと共に、公民連携を推進することに対し強い思いを持った職員をどれだけ増やしていくかというソフト面の充実についても重要課題であると考えている。

建設水道 常任委員会

・ 将来を見据えたまちづくりについて



▲山口県防府市視察の様子

①駅前周辺のまちづくりについて

今後本市のまちづくりは、阪急長岡天神駅周辺整備が中心となり、連続立体交差事業の影響も大きいと想定される。道路などの基盤整備を行い、都市機能を集積して土地利用の高密度化を図り、当該地のポテンシャルを最大限に生かす事業展開が必要である。引き続き地域住民などから意見をくみ取り、整備に反映していくことが必要である。

②公共交通について

令和4年に改訂された立地適正化計画で示された方針をもとに、まちづくりとさらに連携を深めた公共交通サービスの提供と地域公共交通計画の策定が必要となる。

文教厚生 常任委員会

・ 健康寿命延伸に向けた取り組みについてと学校ICT推進について



▲愛媛県西条市視察の様子

①健康寿命延伸に向けた取り組みについて

本市の介護・福祉分野の先進性や、介護予防リーダーの活気に驚き、すばらしい取り組みという共通認識を得た。コロナ禍で認知症の方の増加などに懸念があり、さらに介護予防の取り組みを進める必要がある。

②学校ICT推進について

現在実施しているタブレット端末の活用を継続して行うことで、将来、児童・生徒がタブレットを文房具の一つとして自在に扱えるようになることが大切だと考えており、そのための教育・環境の整備が求められる。また、児童・生徒が入手した情報の正確性を判断できるよう、情報モラル教育に比重を置き、情報リテラシーを養うことが重要である。

行政視察レポート

他市から学んだ
あんなこと
こんなこと

市民サービスの向上や、住みやすいまちづくりを行うために、委員会が所管している行政事務に対し、先進的な取り組みや創意工夫を凝らした施策についての調査・研究（行政視察）を行っています。委員会などでの審査や所管事務調査などにおいて、視察調査内容を生かした提言などを行い、市政へ反映させています。

総務産業常任委員会

- ①リノベーションまちづくりについて
(埼玉県春日部市)
- ②大宮区役所新庁舎建設について
(埼玉県さいたま市)

春日部市では、遊休不動産などの既存ストックを活用したリノベーションまちづくりに取り組んでいる。行政が場づくりを行い、そこで生まれた民間プレイヤーが事業を実施することによって、商店街の活性化や地域の課題解決に繋がりを、不動産価値の向上や担税力が強化され、エリア価値が向上していくという仕組みを作ることを目指している。



建設水道常任委員会

- ①防府駅てんじんぐち地区(防府駅北)土地区画整理・再開発事業の一体的施行について
(山口県防府市)
- ②真備緊急治水対策プロジェクトについて・内水浸水対策について
(岡山県倉敷市)

倉敷市では平成30年7月豪雨により、河川堤防が決壊し、真備地区の約3割が浸水した。被災後、地区の復旧・再生、将来を見据えたまちづくりを推進する真備地区復興計画が策定され、この計画に基づき、真備緊急治水対策プロジェクトによる治水対策、復興防災公園（仮称）の整備などさまざまな事業が実施され、現在は再生期の最終段階となっている。



文教厚生常任委員会

- ①校務環境のフルクラウド化について・バーチャルクラスルームについて
(愛媛県西条市)
- ②フューチャールームについて・岡山大学との協定について
(岡山県備前市)

備前市では、子どもたちのコミュニケーション能力や発表能力などの未来に必要な力を高めるため、平成28年度に全小・中学校にフューチャールームを整備した。フューチャールームは共通する基本仕様のほかに、各学校の要望に応じたカスタマイズがされており、子どもたちの学習意欲を高めるさまざまな取り組みが行われている。



議会運営委員会

- ①インターネットによる委員会中継及び配信について・議会における電子採決について
(山口県下関市)
- ②インターネットによる委員会中継及び配信について・議会における電子採決について・議会改革について
(福岡県宗像市)

宗像市では、平成22年から表決の方法を起立採決から押しボタン方式の表決に変更し、賛成者は○、反対者は×のボタンを押すよう運用している。議員ごとに○×が表示され、表決結果の画面もライブ映像で流している。議会だよりでも賛否が分かれた議案について、議員名を掲載しており、記名投票による採決と同様の運営をしている。

